港北ラウンジニュース

そよ風

2026年
No.151

横浜市港北国際交流ラウンジ　KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

2026 ワクワクまつり 特集号（とくしゅうごう）











SAMURAIになろう！



10月11日（日）ワクワクまつりが大豆戸地域ケアプラザとの共催で開催されました。お天気にも恵まれ、1,000人以上の来場者で、どのコーナーも賑わっていました。過去2回開催して好評だった「甲冑体験」は今年も大人気で、大人も子どもも凛々しいサムライ姿でほかのお客様もそれを見て思わずニッコリ。この甲冑は手作りの段ボール製で軽いものです。



永年活動表彰式（えいねんかつどうひょうしょうしき）

本年度は10年表彰で10名が表彰されました。長期にわたるボランティア活動、本当にありがとうございます。そして今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

日本語教室学習者による 日本語スピーチ

今年は、１３人の学習者が日本語スピーチをしました。紙面の都合上、一部を割愛して掲載しています。



昨年の秋に来日しました。

文化の違いで、少しずつ変わった私

オウ ナン　さん　中国 出身

一日目：日本に来て、最初に驚いたことの一つは、コンビニです。日本のコンビニでは、ATM を使ったり、コピーをしたり、荷物を送ったり、電気代や水道代を払ったりできます。「コンビニって、こんなに何でもできるんだ！」と驚きました。

二日目：初めて梅干しを見たとき「大きい梅だから、甘いだろう、一口で食べたら、きっとさっぱりして美味しい」と思いました。そして、大きな梅干しを一口で食べました。すごく酸っぱくてしょっぱくて、「死ぬかと思いました！」でも、あとでご飯と一緒に食べてみたら、意外とすごくおいしかったです。今では、梅干しを見ると「ご飯が食べたい」と思うようになりました。





三日目：中国にいたときは、タクシーをよく使っていました。中国ではタクシーが比較的安いので、近いところでもタクシーに乗ることがありました。でも、日本に来てから、タクシーが高くてびっくりしました。最初は「どうしよう」と思いましたが、少しずつ電車に乗ったり、歩いたりするようになりました。

四日目：もう一つは、水です。中国では、温かいお湯を飲む人が多いので、日本に来たばかりのころは、冷たい水を飲むのが少し苦手でした。でも、今では……普通に冷たい水を飲んでいます。

五日目：そして、私が一番「日本に来たんだな」と感じたのは、会社に行くときの服装です。中国では、毎日スーツを着て会社に行くという習慣は、私の周りではあまりありませんでした。でも、毎日続けているうちに少しずつ慣れてきました。今では、スーツを着て電車に乗って会社に行くことも、私の日常になりました。

フィリピン最高



イサさん　レジーナさん　ノエミ さん　シリルさん

日本人の知らないフィリピンを紹介　フィリピン出身

フィリピンには7,107の島があります。3つの地域に分けられています。３つの地域は、ルソン、ビサヤ、ミンダナオです。



マニラはフィリピンの首都であり、ケソン市に次いで 2番目に人口の多い都市です。ルソン島のマニラ湾東岸に位置しています。しかし、ルソン島へ行けばフィリピンが誇る世界の驚異バナウェのライステラス（棚田）を目にすることができます。ビサヤ地方には、「チョコレート・ヒルズ」があります。世界に類を見ない、唯一無二の場所です。

ミンダナオにも、ユネスコ世界遺産があります。それはハミギタン山地野生生物保護区です。これはダバオ・オリエンタル州にある、保護された山地です。ああ、家族と一緒にその素晴らしいものを見てみたいですね。それだけではありません。シアルガオ島には最高のビーチもあります。マグププンコ・ビーチ＆ロックプール、ダク島、ネイキッド島を巡る「3島ホッピング」をぜひお楽しみください。いやはや、ルソン島だけでなく、パラワン州にも最高のビーチがありますよ。ぜひコロン島を訪れて、素晴らしい自然を満喫してください。コロン島がある一方で、ビサヤ地方にはボラカイ島もあります。世界的に有名な観光地です。州観光局によると、2025年には 2,155,217人の観光客がボラカイ島を訪れました。

ビサヤ地方には、独自の「フンバ（HUMBA）」があります。これはビサヤ地方、特にセブに深く根付いている、豚バラ肉をじっくりと煮込んだ料理で、甘味と旨味、そしてほのかな酸味が特徴です。



N1 に合格し探究心も深い方。

同じ本でも、言語によって感じ方が違う

ゴ シミンさん　中国出身

日本に来てもうすぐ三年になります。

皆さんは、同じ本を二つの言語で読んだことがありますか？　私は中国語が母語で、今、日本語を勉強しています。最近、日本語の本を読むようになって、ちょっと面白いことに気づきました。同じ内容なのに、中国語で読むときと日本語で読むときでは、なぜか感じ方が少し違うんです。例えば、『嫌われる勇気』という本には、「他人の期待に応えるために生きる必要はない」という文章がありますが、中国語では、「不要活在別人的期待裡」という表現になります。皆さんは、この二つを聞いて、どんな感じがしますか？　私の場合、中国語で読むと、とても直接的に感じます。「他人の考えに合わせなくていい。自分の人生なんだから、自分の考えで生きればいい。」そんなふうに、背中を押されているような気がします。でも、日本語で、「他人の期待に応えるために生きる必要はない」と読むと、少し違う感じがします。なぜか、最後に「よ」という語尾をつけたくなるんです。「他人の期待に応えるために生きる必要はないよ」というふうに。どうでしょう。少し雰囲気が変わりませんか？　何か、誰かがそばで優しく声をかけてくれている気がします。

もちろん、「中国語は強くて、日本語は優しい」と言いたいわけではありません。私が面白いと思ったのは、意味はほとんど同じなのに、言語が変わると、感じ方が変わるところです。以前の私は、外国語を勉強するということは、単語や文法を覚えて、意味が分かるようになることだと思っていました。でも、日本語を勉強しているうちに、言葉には「意味」だけではなく、距離感や温度のようなものもあるのではないか、と思うようになりました。ですから最近は、日本語の本を読んでいると、「この言葉、中国語だったらどう感じるかな？」と考えることがあります。それで、本を読むことも、日本語を勉強することも、前より面白くなりました。

皆さんも外国語の本を読む機会があったら、意味だけではなく、「どんな感じを受けるかな？」と、ちょっと考えてみてください。今まで気づかなかった新しい一面が見つかるかもしれませんね。



明るく楽しく日本語学習しています。

台湾のおいしい一日

テン ユシュアン　さん　台湾 出身

みなさん、台湾料理を食べたことがありますか。台湾では、朝ご飯に何を食べるか、迷うことがあります。選択肢がたくさんあるからです。その日の気分によって、台湾式にしたり、洋食にしたり、朝市へ行ったりします。今日は、私の好きな台湾グルメの一日コースを紹介します。

朝ご飯　青島飯糰(チンダオファントゥアン)　朝市では、市場のおばさんやおじさんが、「イケメン、今日は何を食べる？」「美人さん、何か食べない？」と話しかけてくれます。「少し食べてみて」と、売っているものも試食させてくれます。朝ご飯には、「青島飯糰」の台湾式おにぎりがおすすめです。紫色か白色のもち米に、肉でんぶ、揚げパン、卵などが入っています。食べた後は、朝市を歩きます。

昼ご飯　金香豬腳・涼麵（ジンシャンジュウジャオ・リャンメン）昼は、「金香豬腳・涼麵」へ行きます。もちもちした豚足と、ごまだれの冷たい麺は、夏にぴったりです。

晩ご飯 香而廉小館（シャンアルリエンシャオグアン）夜は、友達と「香而廉小館」という熱炒店（ルーチャオディエン）へ行きます。熱炒店とは台湾の居酒屋のことで、三杯鶏（サンベイジー）、水蓮菜炒め、鉄板豆腐などを注文します。ビールによく合います。

夜食　永和豆漿（ヨンハドゥジャン）夜中にまたおなかがすいたら、「永和豆漿」へ行きます。夜遅くまで開いていて、鹹豆漿（シエンドゥジャン）や蛋餅（ダンビン）、鉄板麺などを食べることができます。

今日紹介したのは、台北で私がよく知っているエリアのお店です。もちろん、台湾では、基本的にどこでも、いろいろな料理を気軽に楽しめます。



関西にいたこともあります

財布を持たずに生活できる中国

チョウ イ さん　中国 出身

昔出かける時、財布を持って現金、銀行のカード、クレジットカードなどを入れます。現在現金を持ってないし、さらに財布も持ちません。スマホを持つだけで何でもできる時代になりました。中国ではスマホを使うキャッシュレス決済が普及しています。特によく使われているのが、WECHAT PAY と ALIPAY です。買い物時、スマホで QR コードを読み込んで支払いができます。各人自分の支払いコードがあり、コンビニ、レストラン、デパートなどで支払うQRコードを出して、店側がQRリーダーで読み取って、支払完了です。小さなお店、屋台、タクシーなど、QRリーダーがない

場合は、彼らの決済用コードを読み取って金額記入して支払完了します。とても便利です。
Wechat というSNSが中国で一番流行っています。友達と食事した後、一人で纏めて会計して、他の人は自分の分をwechatで送金します。お年玉、お祝い金もWechatで送る場合はとても多いです。
たくさんの中国人はクレジットカード時代を飛び越えて、現金から直接デジタル時代の人になり、スマホ決済が普及しました。



土日は畑で野菜を育てています。

カンボジアの紹介

ムン シナー　さん　カンボジア　出身

きょうは、カンボジアをしょうかいします。
これは、カンボジアの国王が住む王宮です。首都のプノンペンにあります。美しいクメール様式の建築です。庭園も整備されていて、とても綺麗なところです。
これはアンコールワットです。カンボジアの有名な世界遺産です。12世紀に建てられた世界最大級の寺院です。美しい日の出や夕日の景色が人気です。
これは、アンコールトムです。クメール王朝最後の都でした。たくさんの王宮や寺院が残っています。大きな城壁や城門があります。



これは、タ・プロームです。とても大きなガジュマルの木が遺跡を包みます。自然と遺跡が合っていて冒険している気になります。アンコール遺跡で人気がある寺院です。
さいごは、プレアヴィヒア寺院です。がけの上に建つ世界遺産です。メール建築の美しさを感じられます。



日本のアニメ・映画に興味があります。

フィリピンと日本の違い

バリエルタ シドリック トレンティノ　さん
フィリピン 出身

日本にきて一年半働いています。その期間に多くのことを経験し学びました。最初の一年は、食べ物や美しい所へ行くなど、たくさんのことを楽しみました。
日本の料理は最高です。ラーメンやすしなどが好きです。東京や神奈川や大阪などろいろな所へ行きました。今でも行く先々でいつも感動しています。日本の生活になれる方法を学びました。仕事に集中し、より規律正しくなる方法を学びました。日本の生活とフィリピンの生活をくらべると色々な点がちがうとおもいます。例えば交通の面です。日本のほうが便利で、ほとんどのひとがルールを守っています。私の考えでは日本人は他の国の人々よりも規律正しく、時間を大切にしていると感じます。それと日本はとても平和でしずかです。でもときどき疲れているときにさびしさをかんじます。家族や友達、そしてにぎやかなフィリピンが恋しくなります。そんな時はスマホで家族に電話をしたり、友達とバスケットボールして、寂しい気持ちをまぎらわせています。フィリピンか日本かどっちがいいかな,と私は思います。しかし、選ぶ必要はないことに気付きました。もっと日本の生活を楽しみながら日本語をじょうずに話せるようになり、日本の文化も学びたいと思います。



やさしい二児のお父さんです。

ワークキャンプ

サム ブレレトン　さん
イギリス 出身

世界で最初のワークキャンプは1920年、戦争で破壊されたフランスの村の再建でした。フランス、ドイツ、スイスからボランティアが集まりました。今では世界各地でワークキャンプが行われています。私は25歳の時、初めてワークキャンプに参加しました。これは人生を変える経験となりました。
タイのアカ族の難民コミュニティーで一ケ月、主に孤児のサポートをしました。アカ族の人々は、迫害や戦争の犠牲者で、でも毎日一緒に仕事をして沢山の楽しい思い出ができました。



ワークキャンプでは地元の人と交流を通じて文化を体験することができます。観光では同じ経験はできません。そこで、私はボランティアを続けることにしました。
数か月前、南西海岸を巨大な津波が襲っていました。それで一ケ月間、土地の整備を手伝いました。
帰国後もボランティアを続けました。

今年1月に来日した努力家です。



日本での生活と菊名日本語教室への感謝～

ニムティ グック アン　さん
ベトナム 出身

日本に来てから、半年以上が経ちました。日本について一番印象に残っているのは、人の温かさです。特に、ここの先生方やクラスのみなさんはいつも親切にしてくださいます。また、日本の料理もおいしくて、生活もとても便利だと感じています。

私がこの教室を知ったきっかけは、TikTokの動画や、ベトナム人の先輩からの紹介でした。

綱島や菊名に来たばかりの頃は右も左も分からず不安でいっぱいでしたが、この日本語教室のおかげで沢山の友達ができました。先生方からは日本語だけでなく、日本の生活や文化についても多くのことを教えていただき、今ではここが第二の故郷のように感じています。

日本語の勉強は、毎日の積み重ねが大切で、根気が必要です。毎日、時間を作って勉強していますが、漢字や敬語は難しく、時には内容が理解できなくて落ち込むこともあります。

しかし、もっと自信を持ってコミュニケーションをとりたい、日本語能力試験に合格したいという目標に向かって、日々頑張っています。

私にとって、この菊名の教室は目標へ向かうための大きな支えです。いつも温かくサポートしてくださる先生方、そして一緒に頑張る仲間に、心から感謝しています。

来日4年のいつも元気な方です。



雪国

チェ ウンヒ　さん　韓国出身

日本に来て4年が経ち、もう少しで韓国へ帰国します。日本で過ごした日々の中で何が一番思い出深いか考えてみると，最も最初に思い浮かんだのがスキーを習ったことでした。私の故郷である釜山は、真冬になっても滅多に雪が降らない場所です。釜山で雪を見たのは、私の人生で3回もないほどです。もちろん横浜も似たようなものですが、そんな私がスキーを滑れないのは当然のことかもしれません。それでも「いつか子どもが生まれたら、絶対にウインタースポーツを教えて、一緒に冬を楽しく過ごしたい」という夢をずっと抱いていました。

最初の年にスキー場へ行ったときは、ただ珍しそうに雪景色を眺めるだけでした。ですが、人工雪ではない本物のパウダースノーがしんしんと降り積もる場所でスキーを習わないのは、あまりにも勿体ない気がしたのです。そこで翌年の冬、私の家族は全員で初めてスキーを習うことにしました。こうして、私の生涯の夢であった「家族でのスキー旅行」が実現したのです。



日本は韓国よりも雪がたくさん降るため、スキー場も数多く存在します。寒い中で吹雪に吹かれながらスキーを滑っているときは「なぜこんな苦労をしてまでスキーをしているのだろう」と思うこともありますが、一日の終わりを温泉で締めくくると、「これがあるからスキーはやめられない！やっぱりスキーは日本で滑るに限るな」という思いが自然に込み上げてきます。また、日本では昔からウインタースポーツが親しまれてきたためとても小さな子どもからお年寄りまでスキーやスノーボードを楽しんでいます。うちの子のスキーのインストラクターが、英語の堪能なおばあちゃんだったこともありました。そのとき私が感じたのは、歳を重ねてもウインタースポーツを楽しむ日本人への驚きと尊敬の念でした。私もその人たちのように歳をとってもかっこよくスキーを滑りたいという憧れが生まれました。

もちろん韓国にもスキー場はたくさんあります。しかし、その多くは人工雪であり、たとえ天然の雪が降ったとしても日本の積雪量には到底かないません。韓国に戻ってから、今のようにふかふかの天然雪を満喫しながらスキーを楽しめるだろうかと考えると、日本での思い出が早くも恋しくなります。もしかすると、毎年冬になるたびに日本が恋しくなるかもしれません。皆さんも機会があれば、ぜひ日本の「雪国」を体感してみてください。

世界の朝食





中国（上海）　　リツ　ゲイさん

粢飯団　もちもちした食感とサクサクした食感を同時に楽しむことができる人気の朝食です。





エルサイド　ヨスラさん　　スウェーデン

オープンサンド　人気のトッピングは、Kalles Kaviar と呼ばれる ”たらこペースト” です。





フィリピン　　マルパ　ダニエルさん

タプシログ　３ つの料理の頭文字を合わせた名前です。写真はレイエス・ジゼルさんから提供です。





カンチャナ　クマリさん　　スリランカ

キリバット　おこめと ココナッツミルクで つくります。おいわいの ひにも よく たべます。





ニカラグア　　レオナルド　パレートさん

ナカタマル　味はスパイシーで辛いです。１つがとても重いです。だからお腹がいっぱいになります。





ジル　イザールさん　　フランス

クロワッサン　軽くサクサクして独特の風味です。フランスの朝食はシンプルで甘いものが多いです。





フィリピン　　小林ジョイレンさん

シログ（ニンニクチャーハンと目玉焼き）に、ほし魚や肉、野菜、果物をのせたワンプレートごはんです。





エイプリル・バーダルシェルウィン夫妻　**フィリピン**

フィリピンのあさごはんは、あまくて、しょっぱくて、すっぱくて、うまみがあってたのしめますよ♪





中国（西安）　　オウ　セイセイさん

肉夾饃　これは中国版ハンバーガーです。西安では朝から肉料理を食べる人も多いです。

司会のみな皆さん



リン　コウゼンさん（中国）



ウィディヤ　レスタリさん（インドネシア）



リツ　ゲイさん（中国）

特技披露



カンデルさん（ネパール）



ディペスさん（ネパール）



コウさん（中国）



セイランさん（中国）



リツさん（中国）





マリナさん親子（メキシコ）



マギーさん（香港）

世界のファッションショー





多文化ママカフェ

10カ国の親子が母語で「きらきらぼし」を歌いました♪



ミニ外国語体験



カンボジア


中国　四川省



アイルランド
イングランド



スウェーデン



中国　湖南省



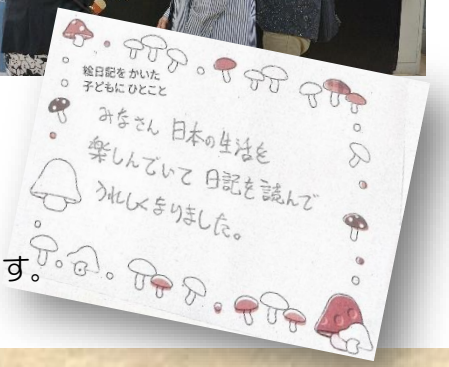
中国黒竜江省

ニューカマー　子どもの絵日記



「ニューカマー　子どもの教室」は、小学1年生から中学3年生までの、外国につながる子どもたちのための教室です。ボランティアと一緒に日本語や学校の勉強をします。そんな子どもたちが描いた絵日記を展示しました。覚えた日本語で書いた日記は個性も光ります。

絵日記を読んだお客様の声（抜粋）



・みなさんの日本でのたのしそうなようすがつたわってきました。
・日記を声に出して　いっしょうけんめいに読んでくれてありがとう。とっても楽しそうで感動しました！！文もえもじょうずですね。
・小学生、中学生の夏のお話をきくことができて、とても楽しかったです。ありがとう。読みながら　にこにこしました。冬も楽しんでください。

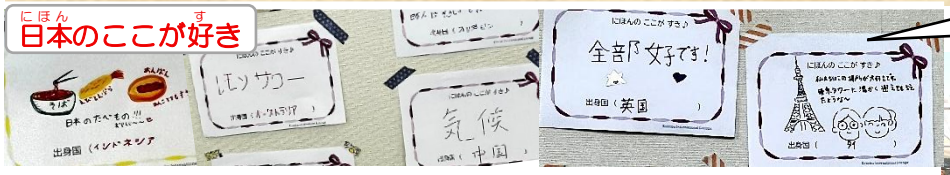






外国語スタッフによるワークショップ。中国・ベトナム・韓国出身のスタッフが、クラフトやゲーム、文化の紹介などを通して、おとなも子どもも含めた地域の日本人や外国人同士で交流を深めていました。

日本のここが好き



日本語学習者などが書きました



横浜市港北国際交流ラウンジ
KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE
〒222-0032　横浜市港北区大豆戸町316-1
Tel 045-430-5670　Fax 045-430-5671
E-mail　kohokulounge@yokohama.nifty.jp
ホームページ　https:// kohokulounge.com/

Website　Facebook　Instagram